

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜農林高等学校

学校番号 15

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「不撓不屈」の精神のもと、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし「豊かな心をもつ自立した人間」を育て、進路実現を図る。	
2 評価する領域・分野	◇ 健康管理、安全管理	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナに対応するための対策として、施設の消毒作業や登校時の健康チェックなど適切に行うことができた。 ・防災に関してできる範囲で訓練を実施することができた。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健衛生：新型コロナ対策の徹底 (2) 防 災：命を守る訓練の実施 (3) 環境美化：掃除道具の整備・カーテンの整備 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生は、保健主事を中心にして新型コロナ対策を講じる。 ・防災は、防災担当者が命を守る訓練を実施し、防災備品を整備する。 ・環境美化は、美化委員会を通して活動する。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設設備の消毒作業 (2) 登校時等の健康チェック (3) 命を守る訓練の実施 (4) 掃除道具・カーテンの整備 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 管理カードの提出後の確認 (2) 健康チェックカードの提出後の確認 (3) 訓練時の生徒の動向を観察 (4) 掃除道具などの点検 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ①保健衛生：新型コロナ対策の実施 ②防 災：命を守る訓練の実施 ③環境美化：掃除道具・カーテンの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①全職員で適切に対応できたか。 ②訓練を適切に実施できたか。 ③掃除道具・カーテンの整備の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ B C D A Ⓑ C D A Ⓑ C D
11 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○保健衛生：全職員で新型コロナウイルス感染症対応ができた。 ▲保健衛生：長期に渡る感染症の対応で、職員の負担が大きく疲弊している。 ○防 災：感染対策をした上で、命を守る訓練が実施できた。 ▲防 災：これまで実施した形での避難訓練が実施できていない。 ○環境美化：掃除道具・カーテンの整備を精力的に実施できた。 ▲環境美化：カーテンの整備について、特別教室は十分ではない。 	
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>保健衛生：コロナ禍による新しい生活様式の定着を目指しながら、感染症対策を確実に実施していく。 防 災：感染症対策を講じながら、どこまで臨場感のある訓練ができるのかを検討する必要がある。 環境整備：各特別教室における掃除道具・カーテンの整備を引き続き実施していく。</p>		

Ⅱ 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月8日

【意見・要望・評価等】

- ・生徒の健康管理は学校の支援が必要であり、コロナ禍では、健康チェックの重要性と感染防止の徹底が大切なことが教職員や生徒に再認識された。
- ・厚生部が生徒指導部とも連携し、交通事故防止に努めてほしい。
- ・コロナ対策では、教員の負担が大きいが、教員と生徒が一丸となってこの難局を乗り切ってほしい。
- ・今後も、生徒の安全を第一に考えた対策を実践してほしい。
- ・教職員による日々の感染症対策等の取組に感謝している。